

本県における高病原性鳥インフルエンザ防疫対応について

1. 発生状況

(1) 農場の概要

農場所在地 : 大津市
飼養羽数 : 採卵鶏 3,582羽

◆周辺地域における家きん飼養農場(100羽以上の飼養農家)

	採卵鶏		肉用鶏		種鶏		その他		合計	
	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数	羽数
3km	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3-10km	5	3,530	1	1,000	—	—	—	—	6	4,530
合計	5	3,530	1	1,000	—	—	—	—	6	4,530

(*発生農場は除く。*6農場のうち、県内の農場は採卵鶏1、肉用鶏1)

(2) 疑似患畜決定までの経緯

1月18日(水)

- 13時10分 死亡鶏が増加した旨の通報、家畜保健衛生所が緊急立ち入り。
- 18時00分 当該農場における簡易検査で、A型インフルエンザ陽性を確認。
- 18時00分 滋賀県特定家畜伝染病対策本部を設置。

1月19日(木)

- 8時00分 家畜保健衛生所でのPCR検査でH5亜型に特異的な遺伝子を検出。
- 12時00分 国が疑似患畜と決定。

2. 防疫対応

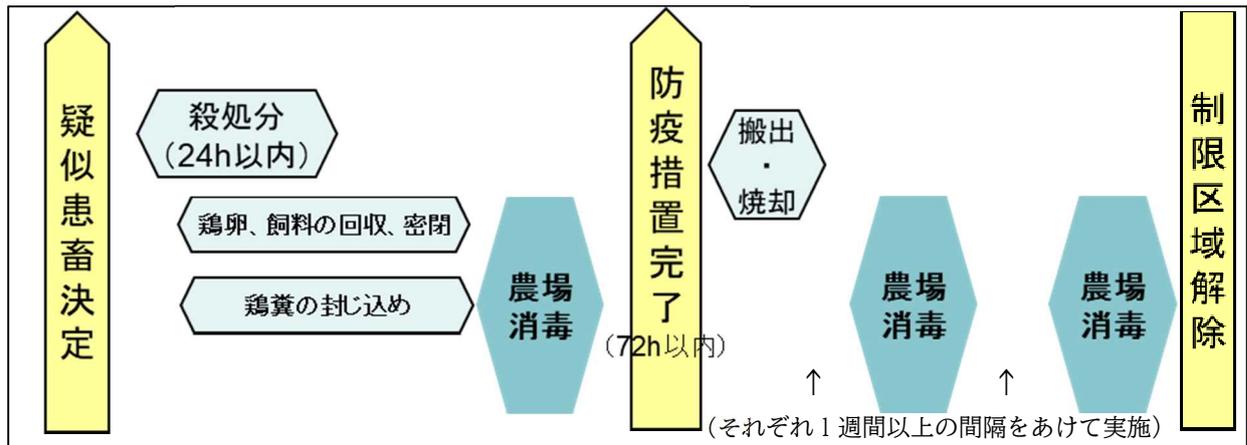
(1) 県対策本部の開催

- 第1回 1月18日(水) 22時00分
- 第2回 1月19日(木) 11時00分
- 第3回 1月20日(金) 11時00分

(2) 大津現地対策本部の開催

- 第1回 1月18日(水) 21時00分
- 第2回 1月19日(木) 10時00分
- 第3回 1月20日(金) 10時00分
- 第4回 1月20日(金) 17時00分
- 第5回 1月21日(土) 17時00分

(3) 防疫対応の経過



日時		内容
1月19日	11:53	テント基地到着
	12:00	防疫措置開始
	15:30	殺処分 1,150羽 (累計)
	20:30	殺処分 2,550羽 (累計)
1月20日	0:00	殺処分 3,400羽 (累計)
	2:00	殺処分 3,571羽 (累計) ※検査時の死亡鶏 11羽を合わせて飼養羽数 3,582羽
	3:00	殺処分完了確認 (防疫措置開始から 15時間 で完了)
1月21日	11:45	防疫措置完了 (防疫措置開始から 47時間 45分 で完了)
1月22日	13:23	大津市内焼却施設において焼却処理開始
1月23日	20:30	焼却処理終了 (焼却対象：鶏 3,582羽、鶏卵 約 625kg、飼料 約 7,000kg)

(4) 制限区域の設定

①搬出制限区域 (発生地から半径 3～10 km以内)

1月19日 (木) 12時 ～ (2月1日 (水) 解除予定)

※ 防疫措置完了から 10日目

②移動制限区域 (発生地から半径 3 km以内)

1月19日 (木) 12時 ～ (2月12日 (日) 解除予定)

※ 防疫措置完了から 21日目

(5) 消毒ポイントの設置、運営

①大津市皇子が丘公園駐車場

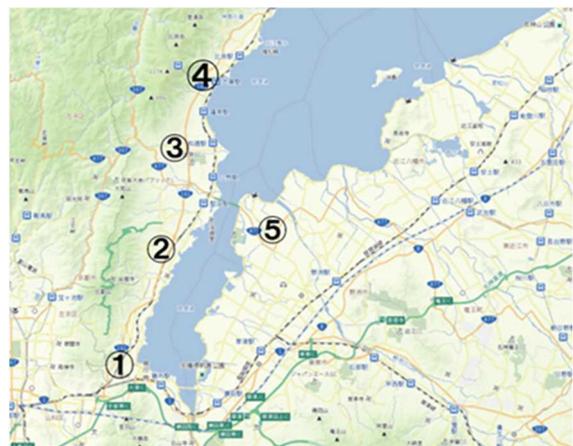
②仰木雄琴料金所道路公団跡地

③JAレーク滋賀伊香立

カントリーエレベーター

④大津市木戸市民センター裏駐車場

⑤びわこ地球市民の森



(6) 畜産農家、畜産関係者への「家畜衛生情報」の発出

1月18日(水) 野生動物侵入防止対策・消毒の徹底

1月19日(木) 車両消毒の実施、移動の自粛

(7) 防疫対応に協力いただいた団体・事業者(順不同)

団体名	協力内容
一般社団法人滋賀県建設業協会	重機、運搬車両、資機材の調達、家畜の運搬、焼却処分作業
一般社団法人滋賀県建設業協会大津支部	
NPO法人コメリ災害対策センター	防疫資材の供給
滋賀県ペストコントロール協会	消毒ポイントにおける消毒作業
日本液炭株式会社関西支社	サイフォン式炭酸ガスボンベの供給
一般社団法人滋賀県トラック協会	防疫資材等の輸送
一般社団法人滋賀県バス協会	作業者の輸送
一般社団法人滋賀県造園協会	動力噴霧器等の調達
有限会社アニテック	防護服等の供給
総合警備保障株式会社(ALSOK)滋賀支社	消毒ポイントにおける消毒作業、通行制限箇所の警備等
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	飲食料等の供給
株式会社平和堂	飲食料等の供給
株式会社カンポ	産業廃棄物の収集、運搬、焼却
国土交通省滋賀国道事務所	消毒ポイント設置に伴う道路の占用、施設利用等
一般社団法人滋賀県産業資源循環協会	焼却施設への密閉容器の運搬
レーク滋賀農業協同組合	消毒ポイント設置場所の提供
彦根地方气象台	気象情報の提供

(8) 防疫対応の従事者数(延べ人数)

※未確定 R5.1.23時点

	県職員	市職員	民間事業者	合計
農場防疫対応	455人			
消毒ポイント運営	30人	—		
集合場所運営	46人			
焼却処理対応	90人			
合計	621人			

集 計 中

【防疫対応の風景】

(殺処分①)



(殺処分②)



(消毒ポイント)



(パール(箱)に詰められた鶏、卵、飼料)



(焼却施設に向けた搬出作業)



3. 今後の対応

(1) 防疫対応

①農場消毒

1月30日(月) (予定)

2月 6日(月) (予定)

②搬出制限区域(3~10km)の解除

2月 1日(水) 0時(予定) (防疫措置完了から10日目)

③消毒ポイント(3か所)の運営終了

2月 1日(水) 0時(予定)

- ・大津市皇子が丘公園駐車場
- ・大津市木戸市民センター裏駐車場
- ・びわこ地球市民の森

④移動制限区域(3km以内)の解除

2月12日(日) 0時(予定) (防疫措置完了から21日目)

⑤消毒ポイント(2か所)の運営終了

2月12日(日) 0時(予定)

- ・仰木雄琴料金所道路公団跡地
- ・JAレーク滋賀伊香立カントリーエレベーター

(2) 家きん飼養農場への対応

①発生農場

- ・殺処分された鶏や焼却処理された鶏卵・飼料等に対し、国からの手当金の支給
- ・再開に向けた、飼養衛生管理基準の遵守指導

②県内家きん飼養農場

- ・飼養衛生管理者による自己点検の実施および改善指導
- ・県内でのさらなる本病発生の予防を目的として、県内の家きん飼養農場に対して、鶏舎周囲等の消毒に必要な消石灰を配布のうえ、家畜伝染病予防法による一斉消毒の実施命令を発出予定。

(3) 野鳥への対応

- ・1月19日、環境省において、発生農場から半径10km圏が野鳥監視重点区域に指定。
- ・琵琶湖岸を中心に水鳥の飛来地11地点についてパトロールを継続実施。パトロール地点では野鳥の異常行動や死亡個体の確認はされていない。
- ・引き続き、重点区域において、野鳥の監視を行っていく。

- (4) 防疫作業に従事した職員、関係者等のこころのケア
- ・精神のおよび身体的に不調を感じられた場合、関係部局や団体と連携し相談受付
- (5) 今後の防疫体制の強化
- ・今回の防疫対応の反省点を踏まえた課題整理と体制の強化・充実

<参考> 国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況

シーズン	発生事例	処分対象羽数
R 4 (R4.10~R5.1.22 現在)	25 道県 64 事例	約 1,179 万羽
R 3 (R3.11~R4.5)	12 道県 25 事例	約 189 万羽
R 2 (R2.11~R3.3)	18 県 52 事例	約 987 万羽